

千秀だより

横浜市立千秀小学校

4月号

平成25年(2013).4.1



お子様のご入学・ご進級、おめでとうございます。

校長 市川 幸男

桜やチューリップなど、春の花の美しく咲き誇る中、新たに43名の新一年生を迎え、全校児童212名で平成25年度がスタートしました。児童数で見ますと、わずかな増加ではありますが、これまで全学年で単級であったところが、今年度は1年生と6年生が2学級になるなど、全10学級(含む個別2学級)の編成となりました。

登校する児童の笑顔を見ていると、入学・進級の喜びとともに、「今年は〇〇をがんばりたい。」「今年は〇〇ができるようになりたい。」といった一人ひとりの希望や期待をもって、この日を迎えたことが推量されます。子どもたちの希望や期待をしっかりと受け止め、職員一同、力を合わせて教育活動を進めてまいります。どうぞ変わらぬご理解、ご支援を宜しくお願い致します。

さて、皆様ご存知のことと思いますが、本校では、「すこやかに であう ふれあう 学び合う」を学校教育目標に掲げ、教育活動を進めています。この目標の実現には、常に子どもにとって学校が、笑顔で楽しく通える場所であることが必要だと思っています。そしてそういった子どもたちの思いを支えるためには、子どもたちが学校での生活の中、次の三つのことを感じ取っていることが重要だと考えています。

- 子どもたち一人ひとりにとって、楽しい授業、よくわかる授業がある。
- 子どもたち一人ひとりにとって、互いに尊重し合えるよい人間関係がある。
- 子どもたち一人ひとりにとって、自分の個性・特性が発揮でき、伸ばせる場がある。

そのために、本年度は次のことを重点において、一年間頑張って参りたいと存じます。

1 児童が楽しく学ぶ中で、「確かな学力」「強い心身」を身に付けさせる学校。

- 元気に登校、笑顔で下校。学ぶ喜びと、学びに対する期待をもたせる。
- 知識・技能の確かな習得のもと、学び方の育成も大切に育てていく。

2 心と心が通い合い、ひびきあう学校。

- 相手を思いやり、共に生きる豊かな人間性・社会性を育む。
- 心身共に健康な児童を育てる。

3 保護者が安心して子どもを通わせられる学校。

- 愛情と使命感をもった教職員がいる。
- 「明るい」「きれい」「安全」。学ぶにふさわしい環境が整っている。

4 組織と連携を大切にした教育活動を推進する学校。

- 全職員で全児童の教育にあたる。
- 学校・家庭・地域・行政・関係諸機関との連携を大切にして、教育効果を高める。
- 積極的な情報発信により学校に対する理解を図るとともに、家庭・地域の教育力の積極的導入を図る。

具体的な教育方針や教育内容につきましては、今後の学校説明会や学校だより等で説明させていただきます。一方、ここに掲げた目標等の実現は、学校だけでできるものではありません。保護者・地域の皆様のご協力とご支援があってこそのものであります。重ねてではありますが、今年度もご支援・ご協力のほどよろしくお願い致します。